

水面を叩くような強い雨もあれば、木々の葉をしっとり湿らすような雨もある。川を流れる水は、瀬では激しく泡立つが、淵では渦を巻きゆったり流れる——。多彩な表情を見せる水は、さまざまな芸術作品に用いられてきた。水は、表現者たちが心情やメッセージを伝えるのに適しているのだらう。

3年前から始まったコロナ禍において、不幸なことに一部の芸術は不要不急と言われてしまったが、コロナ禍で浮かび上がった今の社会の課題を乗り越えるためには、過去の延長線上ではない新たな思考や哲学が必要となる。

そこで存在感を増しているのが芸術だ。人びとの心を揺さぶり、時には価値観を変えるほどの感動や衝撃をもたらす芸術こそ、私たちにとってなくてはならないものだ。

自らの思いを水に託して作品にした表現者、そして日本古来の芸術を思索する研究者に話を聞いてみよう。そこにはきっと、これから生きるための手がかりがあるはずだから。

特集

# 芸術と水

## 目次

### 巻頭エッセイ

- 2 ひとしづく今、なぜアートが必要なのか 千住 博

### 特集 芸術と水

- 6 想う 浮世絵に見る 人びとと水の景色 藤澤 紫  
10 詠む 気づきを重ね、丁寧に生きる——俳句と水と我が暮らし 青木亮人  
12 綴る 流れゆく川に見る 素晴らしき人生 松浦寿輝  
14 描く 水は巡り、生も巡る 海で感じた「命の循環」 大小島真木  
19 撮る 一つとして同じものはない「波」を撮りつづけて 梶井照陰  
24 映す 水のように穏やかな暮らし——映画「マザーウォーター」 松本佳奈  
26 奏でる 「癒やしの音」奏でる 水を用いた祈りの楽器 大橋エリ  
28 見つめる 沢水が木々を縫い、池を巡る 静かなる内省の場  
32 潜る 泉を浮遊してとらえた光と陰——映画「セノーテ」 小田 香  
36 文化をつくる 芸術と向き合えば わくわくする日々が訪れる 編集部

### Column

- 39 水の余話 遙かなる大海原を越えて 斎藤善之

### 連載

- 40 食の風土記 19 京水菜でいただく「はりはり鍋」  
42 みず・ひと・まちの未来モデル6  
「水」と「移住者」から捉えた真鶴のコミュニティ 野田岳仁  
48 センター活動報告  
49 編集後記／ご案内  
(敬称略)